

創業  
寛永五年  
西暦1628年

筑波山 江戸屋/つくば市

# 旅館ひとすじ370余年の歴史 大女将はガマの油売り口上の名人



江戸時代後期の江戸屋。左側に見える階段は、ちょうど現在の筑波山神社へ登る階段のあたり。正面右側に見える木は、今も同旅館の駐車場に残っています。



歴史ある旅館だけあって、北原白秋、横瀬夜雨、皇太子殿下…多くの著名人が宿泊しています。小説に登場したこともありますよ。



平成元年(1989年)、筑波山で初めて露天風呂をオープンさせたのはこちらの旅館でした。足湯はなんと200円で入れます。



お手軽足湯は200円。日帰り入浴プランも充実です。

寛永五年(1628年)創業という歴史ある老舗旅館です。筑波山は江戸の町の鬼門を越えることから將軍家の祈願所となり、大いに栄えていました。この参詣客相手の宿屋を創業したのが、江戸屋の始まりです。さすが老舗旅館だけあって北原白秋、横瀬夜雨ら、著名人の多くが利用しています。小説にも登場します(昭和26年・山本有三著「女の一生」)。皇室の利用も少なくありません。そんな江戸屋ですが、有名な筑波山のがまの油を考案したのも、こちらの9代目である吉岡茂夫氏というから驚きです。吉岡氏はがまの油売り口上の普及に

努めましたが、現在では大女将の吉岡久子さんが、全国でただ1人の名人(女性初!)を襲名されています。この名人芸は団体(15名以上)で宿泊すると聞けるチャンスがあるそうです。CDにもなっているのですが、興味がある人はぜひ聞いてみてください。手軽にこちらのお宿を楽しむなら、日帰り温泉プランが充実しています。温泉に加え、釜飯&季節の鍋を楽しめるコースは2,983円とリーズナブル。ほかにも茨城の地元料理を存分に堪能出来るプランが色々用意されています。期間限定のお得な宿泊プランもありますよ。



敷地内には筑波七霊泉の1つ「杉の水」が湧き出しています。館内ではこちらの水を使って入れた、おいしいコーヒーを飲むことができます。



大女将の吉岡久子(83才)さん。ガマの油売り口上の第19代名人です。



筑波山 江戸屋

つくば市筑波7281  
026-866-0321  
宿泊/10,500円~(一泊二食)  
足湯/200円  
<http://www.tsukubasan.co.jp/>



CDも出ます。江戸屋内の売店で1,050円で発売中!